江津市地域公共交通会議

平成20年3月21日設置 平成21年3月23日連携計画策定

江津市

江津市地域公共交通総合連携計画 (平成21年3月23日作成)

(基本方針)

①4条バス路線の運行効率化

②交通不便地域における移動手段確保

③公共交通の利便性向上と利用促進

(目標)

①4条バス路線の運行効率化とサービス見直しにより、利用者の増加と経費削減を目指す。

- ②新たな交通システムの導入等により、市民の移動 可能性を拡大し、交通不便地域を縮小、解消する。
- ③公共交通の利便性向上と高校生の利用促進、エコ 通勤の推進により公共交通への転換を図る。

(区域)

【実証運行の概要】

運行日

運賃

• 運行形態

2日/调

事前予約制を検討

300円(予定)

運行便数 3便(朝・昼・夕)

運行事業者 民間に委託

江津市全域

(計画期間)

H21年度~H25年度

総合事業計画の前提条件

江津市地域公共交诵会議

市民•利用者代表, 学識, 交通事業者,

交通労組代表、道路管理者、警察、 商工団体、福祉団体、交通行政機関

- ①公共交通の役割分担の明確化
- ·JR山陰本線·三江線と、4条路線や地域内路線の競合を回避する。
- ②2層の構造の運行形態
- ・4条路線と地域内路線を結節点で接続する2層構造を基本する。

総合事業計画の概要

1. コミュニティバスの実証運行

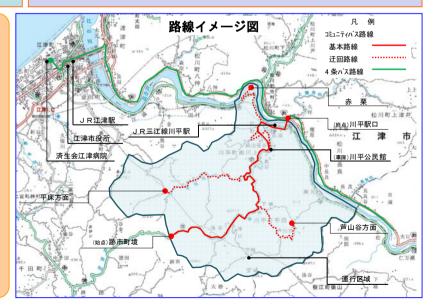
交通空白地域である江津地域中部(川平地区)に新たな公共交通システムを 導入し、交通不便地域の縮小、解消を図る。

- 〇バス車両の購入
- ・例:10人乗りワゴンタイプ
- 〇実証運行の実施
- ・JR三江線川平駅及び石見交通川戸線 川平駅ロバス停を結節点として運行
- ○運行計画の周知広報と成果の検証
 - ・時刻表などの事前配布による広報
- ・乗客アンケートや利用実績の検証

2. 公共交通に関する情報提供

わかりやすい情報提供やエコ通勤の広報を行うことで、利用促進を図る。

〇公共交通総合時刻表の作成と配布



/// A =

〇構成員: